



Vascular Access Nursing Manager

バスキュラーアクセス

VA看護管理者

2026年度 受験案内



VA看護とは

バスキュラーアクセス (Vascular Access; VA) 持つ
全ての個人および家族を対象に看護師が独自または
多職種協働にて行う、全人的かつ全般的なケア



◆VA看護管理者 取得までのながれ

受験資格

- ① 本会正会員
- ② 正看護師経験年数: 5年以上
- ③ 血液透析経験年数: 3年以上
- ④ 透析穿刺経験年数: 2年以上
- * Eラーニングのみ受講
特に職種・資格など制限なし

必須講義の受講

本会指定の
VA看護管理者養成
教育セミナー
(動画講義を受講)
全28単位
(1単位30分程度)

VA看護(N)ハンズオン セミナーの受講(必須)

ハンズオンセミナー中に
エコーの実技試験を実施。
実技試験の合格者のみ
VANエコー実技修了証を発行

VA看護認定審査 2027年3月予定

会場: 未定

- ① 必須講義終了書
 - ② VAエコー実技修了書
- 試験形式
筆記試験

VA看護 学習



VA看護 レクチャー



VA看護 ハンズオン



VA看護 実技試験



JSCNN

ホームページ

2026年度 必須VA看護ハンズオンセミナー候補地

札幌・仙台・富山・東京・愛知・大阪・岡山・長崎・沖縄

注: 開催地区は受講生の希望人数により変更になる可能性があります

* 札幌会場は第29回日本腎不全看護学会学術集会・総会時に開催予定です

事務局: アルカディア・システムズ内 E-mail: info@jscnn.org

日本臨床腎臓病看護学会 VA看護管理者養成委員会





VA看護とライセンス

ライセンス制度の目的

日本臨床腎臓病看護学会は、日本看護協会が認定する透析看護認定看護師の有志の会から始まり、これまで様々なご意見、ご支援を頂き、2024年4月より認定看護師のみでなく、全看護師また、他医療従事者から構成される団体となりました。

認定看護師の主たる目的は、認定看護師が所属する施設、地域の臨床看護の質の向上です。しかし、認定看護師の資格取得には、全日制で約8ヶ月以上の教育カリキュラムを修了し、認定資格審査を合格しなければなりません。また腎不全看護認定看護師(透析看護認定看護師)の養成校は、本邦に1校(20名/年)しかありません。質の担保には必要であります。熱意だけでは、超えられない課題も多くあります。そして、多くの腎不全看護や透析看護の領域の看護師は、臨床看護の知識や臨床看護の技術を必要としております。これまで認定看護師は、個人や小集団で臨床看護の質向上への取り組みを実施してきましたが、よりスピーディーで、より多くの場面で、質の高い活動の推進を図るため、日本臨床腎臓病看護学会主導でライセンス事業を開始しました。

本ライセンスは、幅広い領域でなく、ある特定の分野に特化したライセンスにすることで、その分野の臨床看護の質向上を目的とし、またライセンス取得者が臨床で活躍でき、その結果、患者・家族へ還元できることを目的としています。

VA看護とは

バスキュラーアクセス (Vascular Access、以下VA) を持つ全ての個人および家族を対象に看護師が独自または多職種協働にて行う、全人的かつ全般的なケア

VA看護管理者とは

VA看護を実践・指導・評価し、管理プロセスを展開できる能力を有する者

VA看護管理者の目的

本ライセンスを基に、個人のVA看護の質向上を推進・維持し、VA看護管理者が所属する施設・地域の臨床で実践するVA看護の質の向上を図る。VA看護の組織・地域のボトムアップを図り、腎不全・透析領域のみでなく医療・看護全体の包括的システムに寄与する。

VA看護管理者の役割

- 1)本ライセンスの取得者が所属する施設・地域のVA看護を客観的な指標で算出し学術的なエビデンスの構築に寄与する。
- 2)系統化されたVA看護の客観的なアウトカムを設定し、高質なVA看護の提供・維持できる環境の構築に寄与する。



VA看護管理者ってどんな看護師？

VAとは、血液浄化療法で使用するバスキュラーアクセスです。VA看護管理者は、高度化し専門分化が進む医療現場において、水準の高いVA看護を実践できると認められた看護師です。日本臨床腎臓病看護学会が認定しています。

VA看護管理者とはどんな資格ですか？

正看護師として5年以上の実務経験、かつ血液透析患者への看護実践が3年以上、そしてVA穿刺経験年数が2年以上で、委員会が定める34単位のVA看護管理者養成教育セミナーをeラーニングで修め、かつハンズオンセミナー[技術試験あり]の受講が必須となります。その後、VA看護管理者認定審査に合格することで取得できる資格です。審査合格後は、VA看護管理者としての活動と自己研鑽や組織教育の実績を積み、5年ごとに資格を更新します。

VA看護管理者は、どんな活動をする看護師ですか？

VAを持つ全ての患者(カテーテルも含む)、その家族により良いVA看護を提供できるよう、VA看護管理者の専門性を発揮しながら5つの視点を基に「実践・指導・相談・組織教育・評価」VA看護の質の向上に努めます。

～例えばこんな活動をしています～

専門的なVA治療やVA看護が必要な患者・家族に対して「最善のVA看護は何か？」をVA看護管理者の専門知識・技術・看護に基づき判断・追求し、実践します。

他の看護師や多職種または組織に対し、自らが手本となり専門知識やVA看護技術などを指導・教育し、水準の高いVA看護を行えるように働きかけます。また、VA看護の現場で直面する問題や疑問の相談に乗り、改善策を導き出せるよう専門知識・技術・看護に基づき支援します。

VA看護管理者はどこで活動できますか？

透析医療の進歩や高齢化にて透析患者は、様々なフィールドで活躍しています。そのため透析室の他、病棟、ICU、訪問看護、介護施設等で活動できます。

VA看護管理者を取得するにはどうすればよいですか？

VA看護管理者の受験要件は、①本会の正会員であること、②正看護師実務経験5年以上、③血液透析患者への3年以上の看護実践、④VAへの穿刺経験年数延べ2年以上です。エントリー後に、34単位以上のeラーニングの受講と本会が認定しているハンズオンセミナーを受講し、そのハンズオンセミナー内でVAエコーの実技試験を受験し、合格者のみ修了書を発行いたします。VA看護管理者認定審査には、「eラーニング全過程修了の証明書」と「VA看護エコー実技修了書」が必須となります。認定審査は、全て筆記試験(必須問題あり)となります。可否通知後、合格者は、VA看護管理者登録を実施し、資格の取得となります。



VA看護管理者のQ&A

Q1 看護師経験は、5年以上あり、JSCNNの会員です。現在、訪問看護をしており、透析治療に携わっていません。以前、透析の経験があります。受験は可能でしょうか？

A: 血液透析看護実践3年以上、VA穿刺経験年数が延べ2年以上あれば受験は可能です。詳細な内容は、ホームページのVA看護管理者受講要項をご確認ください。

Q2 看護師以外の職種でも、VA看護管理者の資格は取得できますか？

A: 看護師のみの資格となっています。しかし、セミナーの受講は可能です。

Q3 VA看護管理者養成教育セミナーとVA看護ハンズオンセミナーは修了しましたが、VA看護管理者認定審査を受けるのは、いつまで有効でしょうか？

A: 基本的には、翌年までのVA看護管理者認定審査までは可能です。しかし、ライフイベントなどもありますので、本会事務局へご相談ください。

Q4 私は、看護師長ではありませんが、VA看護管理者の取得しても大丈夫でしょうか？

A: VA看護管理者は、看護管理ではなく、VAを保持する対象への臨床看護の実践やVAに対する看護の質向上が目的ですので、管理職の有無に関係なく活用できる資格となっております。

Q5 当施設は、エコー機はありますが、使用経験が極端に少ないです。受講は可能でしょうか？

A: エコーの使用経験は、必要ありません。しかし、VAにとってエコーは、重要なデバイスですので、VA看護管理者養成教育セミナーやVA看護ハンズオンセミナーを準備しております。

Q6 VA看護管理者には、経験年数が不足しておりますが、自己研鑽の目的で、VA看護セミナーやVA看護ハンズオンセミナーの受講は可能でしょうか？

A: 可能です。看護師以外の職種の方も受講しています。新人からベテランの方まで学びができる内容となっており、ハンズオンでは、経験豊富な指導者が対応しますので学びが多いセミナーとなっております。お気軽にご参加ください。

Q7 VA看護管理者の更新するにはどのような活動が必要ですか？

A: 5年間の活動で、指定する学会や研究会の参加やVAIに関連した演題発表や座長、またはセミナー受講、本会が指定するVAIに関する実践データの提出などでもポイントが取得できます。更新には、50ポイントが必要となります。詳細はホームページをご確認ください。



看護管理者養成研修 カリキュラム

1単位:30分

大項目	区分	単位
01. 「VA看護」について	Web	1
02. 療法選択期におけるVA看護	Web	2
03. VA作成期(周手術期)のVA看護	Web	2
04. 導入期のVA看護	Web	2
05. 維持透析期のVA看護	Web	2
06. 非カフ型カテーテルを使用している患者に対するVA看護	Web	2
07. カフ型カテーテルを使用している患者に対するVA看護	Web	2
08. 急性血液浄化・アフェレーシス時のVA看護	Web	1
09. VA合併症に対するVA看護	Web	2
10. 透析中の安全・安楽を目指した透析中の看護	Web	2
11. 穿刺部位の選定に関するVA看護	Web	1
12. 穿刺	Web	1
13. 穿刺針	Web	1
14. VA穿刺が必要な透析患者の心に寄り添うVA看護	Web	1
15. まとめ～患者が求めるVA看護とは～	Web	1
16. VA看護の発展への寄与	Web	1
17. VA看護の臨床評価と臨床教育	Web	2
18. 生活目標の実践とVA看護	Web	1
19. エコー下穿刺の基礎から実践	Web	1
20. VA看護ハンズオンセミナー (VA看護エコー実技試験)	現地必須	8
合 計		36

【問合先】 日本臨床腎臓病看護学会 VA看護管理者養成委員会